

# 平成27年度事業計画書

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

平成27年度の事業活動は、組織の改正をはかり新組織にて、公益社団法人としての活動をより一層、不特定多数の国民のために展開し、当協会員がJATETの存在と会員である事を実感できる公益活動を活発に行なう。定款第4条に掲げる事業活動を余すところなく実行する。

平成27年度中に定款の改正、事業区分の統一を内閣府に申請し、より公益法人として社会に貢献できる組織に変革する。

JATETの広報をより積極的に展開し、広報担当を責任ある立場にするために、運営委員会所属の広報部会を組織し、本会の活動を積極的に全国に向けて訴求する体制を強化する。

平成27年度に実施する具体的な事業計画は次の通りとする。

## 1. 会議

### 1) 総会

平成27年5月27日（水）14時からホテルローズガーデン新宿に於いて開催予定。

協会の最高機関として、定款第42条(事業報告及び収支決算)に則り平成26年度事業報告、収支決算報告に関する承認決議を行い、第41条(事業計画及び収支予算)に則り平成27年度事業計画、収支予算書の報告をする。

### 2) 理事会

定例理事会を年4回開催し協会運営に関する重要事項を審議し、業務の執行を決議する。

### 3) 執行理事会

理事の代表からなる定例執行理事会を毎月1回、年12回開催する。

年間事業計画に基づき理事会で承認した事業を執行する。

## 2. 委員会

### 1) 運営委員会

公益事業の推進主体としての定例運営委員会を執行理事会と同時開催し、毎月1回年12回開催する。

教育研修部会、建築部会、機構部会、音響部会、照明部会、映像部会、広報部会と連携し、執行理事会の承認のもと、事業を推進する。

## 3. 部会

平成27年度における所属各部会の主たる事業計画は次の通りである。

### 1) 教育研修部会

部会を月1回開催し、新しい劇場・施設あるいは改修された既存の劇場・施設の情報を収集する。

(1) 施設見学会を年2回を目標に随時開催する。

(2) JATET技術展において、教育研修分野の展示を協力分担するとともに、新設、改修された劇場に関わる技術、情報を紹介する。

### 2) 建築部会

部会を原則月1回開催し、次に掲げる調査研究を前年度からの活動に継続し実施する。さらに調査研究テーマに即した研究会を随時行う。

(調査研究テーマ)

(1) 平成26年4月施行国土交通省771告示及び建築基準法例改正に対応した劇場・ホールの新しい施設の

対応状況と、改修を行った施設の対応状況を調査・研究する。

様々な実際の事例に即して、対応方法に関する情報を収集し、今後新築・改修を実施する様々な立場の人の参考とする。

(2) 近年の舞台機構、舞台照明、舞台音響及び映像等の演出技術革新や普及の状況を調査し、建築への影響を研究する。

イ. 劇場演出空間において、付帯設備、または仮設設備の安全性の進化とその確保の確認に関する情報の収集。

ロ. 舞台照明におけるLED光源やムービングライトの普及、分散型調光器配置システム等の普及、それに対応したネットワーク型調光システムへの移行等の普及しつつある新技術の調査・研究と、それに対する建築側の対応について情報収集と分析。

ハ. ラインアレイ型や平面スピーカ等の新しい拡声設備の普及や、フルデジタルによる音響制御、音響設備を超えた様々な機器の制御等の新技術の調査・研究と、それに対する建築側の対応について情報収集と分析。建築音響特性と新技術の相性や補完関係の情報収集と調査・研究。

ニ. ビデオプロジェクターをはじめとする映像設備の新技術とそれを用いた演出の情報収集と調査・研究と、それに対する建築側の対応について情報収集と分析。

(3) JATET技術展において、各種演出空間設備の進化と、建築分野との影響の関係をわかりやすく展示することを各部会と協力分担するとともに、建築に関わる技術、情報を紹介する。

(4) 木造劇場研究会を継続して随時開催し、木造空間の演出空間としての可能性を調査・研究する。

### 3) 機構部会

部会を原則として月1回開催し、以下の活動を行う。

(1) 舞台機構関連のJATET指針、規格等の見直し、改定

平成27年度は、前年度に継続して機構関連の指針、規格等の見直し、改定を行う。

イ. 吊物機構安全指針・同解説

ロ. 舞台機構制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針

ハ. 吊物ボタン積載荷重表示指針

ニ. 舞台機構設備の運用操作の注意事項

(2) 改訂した指針、規格等をJATETホームページに公開し、JATET誌、JATETジャーナル等で紹介する。

(3) 平成28年1月に開催のJATET技術展において機構セミナーを開催する。

(4) JATET技術展において、舞台機構分野の展示を協力分担するとともに、舞台機構の安全に関わる技術、情報を紹介をする。

### 4) 照明部会

部会を隔月開催すると共に、下記の調査研究会を必要に応じて随時開催し、主として次に掲げる項目をはじめ、懸案課題の具体的な解決を計る。

(1) 平成28年1月に開催のJATET技術展において照明セミナーを開催する。セミナーの内容の案としては、現在継続している下記の題材を検討中である。

イ. 『演出空間用LED照明器具表示規格研究会』『LED演出照明設備調査研究会』の成果発表

ロ. JATET-L-7190 劇場等演出空間照明設備更新のためのガイドラインに関するセミナー

ハ. 劇場等演出空間電気設備指針(2014)解説セミナー

最終的には全体の状況を勘案して平成27年8月までに協議し、決定をする。

(2) 平成27年度は下記の組織にて、LEDに関する調査研究を継続して行う。

イ. 『演出空間用LED照明器具表示規格研究会』

白色LEDを用いた器具についての明るさについての表示方法、白色LEDを用いた器具についての色温度表示について、カラーLEDを用いた器具についての明るさ、色の表示方法を主な研究項目とする。

法定表示の詳細や注意喚起表示についてはJATET規格L-5070及びL-5080の改正を検討する必要があるため、本研究会においては使用者が照明器具を選択する上で有益な情報を提供することを主眼とする。

平成27年度においては上記項目においての、ガイドライン発行の検討をおこなっていく。

ロ. 『LED演出照明設備調査研究会』

劇場演出空間における舞台照明設備が、従来の白熱灯光源を調光電源で制御する方式から、LED光源を制御する新たな方式へ変化していくことに伴い、照明設備の運用面や設計面の考え方も変化していくことが考えられる。

JATET照明部会の調査研究会として、このテーマについてユーザとメーカーが討議することで知識の共有を図り、これからの設備のあり方について調査研究をおこなう。

舞台照明設備の電源系設計などについて、今後の改修や新築における電源分岐回路の方式による特徴や、照明電源の考え方を主体とし設置や制御なども含めて検討し安全確保と技術の向上に努めていく。

ハ. 上記の二つのLEDに関する研究会の為の検証として、LED器具の実機検証会を行う。

調光特性、色度、明るさと容量の関係、従来器具との比較を検証項目とする。

(3) JATET技術展において、舞台照明分野の展示を協力分担するとともに、舞台照明の安全に関わる技術、情報を紹介する。

5) 音響部会

部会を原則として隔月開催、作業部会を随時開催し、以下の活動を行う。

(1) 劇場等演出空間電気設備指針の改訂に伴う標準化推進事業を下記のとおり進める。

イ. 劇場・ホールの音響性能測定法の改訂

旧日本劇場技術協会規格 電気音響設備動作特性の測定方法 (JITT A2001) を修正し、JATET規格として改訂発行する。

ロ. 音響電源に必要な条件のとりまとめ

音響電源の大容量化の要求に対して、仮設を含めた劇場・ホール施設の舞台音響電源設備における使用電圧、電流及び周波数などの条件を調査研究する。

(2) 音響設備に関して、以下の2項目の最新かつ必要な情報を収集及びに分析検討を行う。

イ. ラジオマイクの周波数移行問題 (国内)

特定ラジオマイクの周波数移行に際して、携帯電話事業者との具体的協議が進められているが、その最新情報を収集、調査研究を行う。

ロ. デジタルオーディオネットワークの世界的な動向

音響設備のデジタル化に伴い、さまざまなネットワーク技術を用いたマルチチャンネル伝送規格が採用されているが、その最新動向を収集、調査、研究を行い今後の方向性を探る。

(3) 平成28年1月に開催のJATET技術展において音響セミナーを開催する。

(4) JATET技術展において、演出空間音響分野の展示を協力分担するとともに、演出空間音響分野に置ける研究成果の技術、情報を紹介をする。

6) 映像部会

部会を研究会を兼ね、原則として月1回開催し、以下の活動を行う。

技術の進화가速い映像分野の情勢に対応して、運用を含めた広い領域に亘る情報を、迅速に収集し、

会員への情報のフィードバックに注力する。また新しいメンバーの増強にも積極的に取り組み、以下の活動を行う。

(1) 引き続き大型映像システムを中心とした諸問題の調査、研究に積極的に取り組む。

特に、

イ.「劇場、イベント等における大型映像の利用手法」

ロ.「映像表示システムによる電子背景」

ハ.「ビデオ・マッピング(プロジェクション)」について、

ニ.将来に向けた展開の重要性を考慮して、DTVはもとより、4K、8K(SHV)技術の進化に対応した動向の調査を進める。

(2)『舞台映像技術セミナー』の開催

イ.平成27年年7月開催を目標に、舞台映像技術セミナーを開催する。

ロ.最新の映像技術を紹介、舞台表現への可能性を探る。

(3) JATET技術展において、演出空間映像分野の展示を協力分担するとともに、演出空間映像分野の最新システムの課題を追求する。

イ.舞台映像システムにおける課題

ロ.劇場におけるインフラとしての映像設備の構築と運用に関する課題

ハ.劇場における光回線ネットワークによるシステム構築など、映像インフラに対する指針の提示を目指す議論を展開する。

(4) 部会内研修会を企画する

イ.有機ELについて、

ロ.大型LEDスクリーン・プロジェクション・マッピングなど、最新映像技術の動向調査をテーマとした研修(現場視察を含む)

ハ.劇場における映像関連設備の運用状況に関する調査を通じた研修(現場視察を含む)

(5)平成28年1月に開催のJATET技術展において映像セミナーを開催する。

(6)JATET技術展において、演出空間映像分野の展示を協力分担するとともに、演出空間映像分野に置ける研究成果の技術、情報を紹介をする。

## 7) 広報部会

広報部会は、平成27年度に編成予定であり、主に協会の広報活動を担う。

広報部会は、月1回程度開催の予定である。

## 4. JATET 創立 25 周年記念 JATET 技術展

JATET 創立 25 周年記念 JATET 技術展を平成 28 年 1 月に開催する。

第一会場 (展示会場) 全労済会館 新宿スペース・ゼロ

第二会場 (セミナー会場) 新国立劇場 中劇場

劇場演出空間で使用される舞台機材の最新技術を紹介することと、

劇場演出空間全域での安全に関わる最新の研究を紹介し、広く全国に普及させることを目的とする。

## 5. 国際交流

韓国産業技術試験院(KTL)との交流、連携をより一層強化する。

OISTAT日本センター及び劇場演出空間に関連する国際的他団体と交流をする。

## 6. 国内交流

劇場演出空間施設及びこれに関連する設備・機器の安全確保と技術の向上に関する関連機関、団体等との交流を一層促進する。

## 7. 発刊物

### 1) 機関誌JATET

機関誌JATETを年2回程度発行する。

JATET誌77号は、JATET創立25周年を記念する特集号とし、JATETが創立以来25年間で行った事業、研究成果を広く社会に訴求する。

JATET誌78号は、平成28年1月に開催を予定しているJATET創立25周年記念JATET技術展を主題に各部署で研究、調査している最新技術や最新情報を広く社会に紹介する。

2) JATET ジャーナル

JATET ジャーナルはホームページ上で電子媒体として、年2回程度発行をする。

教育研修部会の主催する施設見学会を特集し、他の部会と協力して紙面内容の充実を計る。

3) JATET ニュース

JATET ニュースを毎月1回を基本に、電子媒体として発行する。

JATETの最新のニュース、会員の動向、協力関係にある協会、組織の劇場演出空間に関する情報をいち早く社会に知らせるべく、ニュースの即効性を強化する。

4) 東日本大震災以降、継続して報告してきた結果と課題について

大震災特集としてまとめ、電子版として全国に発信する予定である。

8. JATETマークの改正と普及

従来照明関係のみが使用してきたJATETマークを他の分野に応用可能すべく研究を進める。

以上